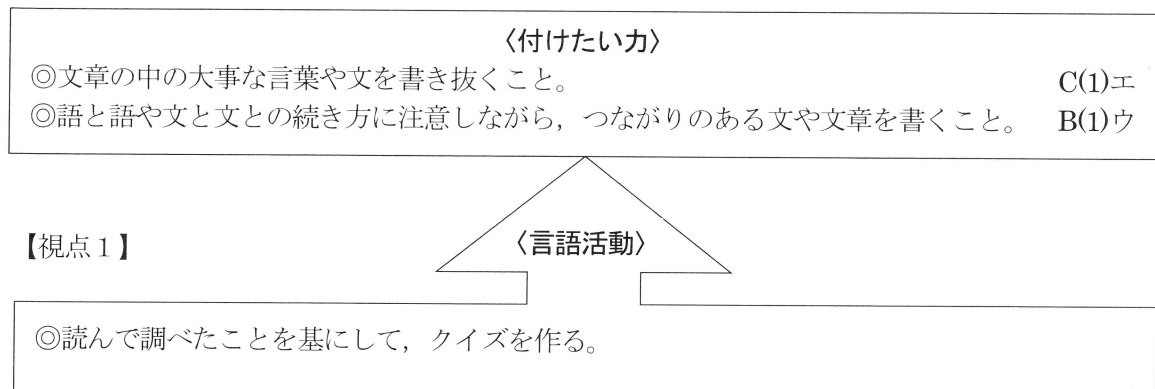


第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成30年9月27日(木) 5校時
児 童 第2学年 男3名 女3名 計6名
指導者 佐賀 敦子

- 1 単元名 どうぶつのひみつをみんなでさぐる
- 2 学習材名 「ビーバーの大工事」 (東京書籍2年下)
- 3 付けたい力と言語活動



4 単元について

(1) 児童について

児童は、2年「たんぼぼ」では、時を表す言葉を探し、事柄の順序を考えながら、書かれていることを読み取ることができた。「ふろしきは、どんなぬの」では、カードと本の二つの文章を読み比べ、同じ内容を表している文に線を引き、二つの文章の違いを視覚的に捉えながら、それぞれの文章のよさを考えるとともに、文章は使われている場面や用途・目的に応じて、文章の構成や内容、説明の仕方を変えていることを理解することができた。しかし、視点に沿って自力で大事な言葉や文を適切に見付けることが難しい児童も見られており、今後力を高めることが必要である。

(2) 学習材について

本教材は、アメリカビーバーを題材に、その生態を、体の構造や機能と関連させて説明した、二十一の段落からなる文章である。「木を切りたおすビーバー」「ダムを造るビーバー」「すを作るビーバー」の各見出しにより、文章が三つのまとまりに分けられ、ビーバーの巣作りの様子について、地上から水中へと順を追って書かれている。その中で、体の特徴やビーバーの特質などを織り交ぜてビーバーの行動の順序が述べられている。また、挿絵や写真が本文と対応する形で掲載されており、叙述に即した内容を捉える手掛りとなっている。ビーバーの能力と知恵は、児童にとって興味深いものであり、関心と興味をもって読み進めると思われる。好奇心や知識欲を喚起し、他の動物たちの能力や知恵についても意欲をもって本や資料を読み進めたいと思わせる上でも適した教材である。

(3) 指導に当たって

本単元では、視点に沿って主体的に大事な言葉や文を探しながら読み、書き抜く力を身に付けさせたい。そこで、最後に「どうぶつのひみつクイズ大会」を設定し、問題や答えを考えるために文章を読み、大事な言葉や文を書き抜いてクイズを作る言語活動に取り組んでいく。

第一次では、指導者の「どうぶつのひみつクイズ」のモデルを提示し、動物の体の特徴や生態、知恵について興味・関心をもたせるとともに、これからの学習への意欲付けを図る。そして、動物の「ひみつ」を調べてクイズを作り、クイズ大会をするという単元のゴールを示し、学習の見通しをもてるようにする。

第二次では、ビーバーの木を切り倒す様子、ダム作りの様子、巣作りの様子について、まとめごとに詳しく読んでいく。その中で、児童がすごいと驚いたこと、初めて知ったこと、友達に伝えたいと思ったことなどを「ひみつ」として捉え、「ビーバーのひみつクイズ」を書く活動をまとめごとに設定する。見付けた「ひみつ」が書かれている文を抜き出し、それが答えとなるような問題を考えさせていくが、その際、言葉の増やし方や減らし方、言葉の順序を入れ替える工夫など、より分かりやすい文にする方法に気付かせていく。初めは全体でクイズ作りを行うが、最後には自力で取り組めるよう、段階的に指導していく。また、動物の体の特徴や生態、知恵がどのように書かれているか、ビーバーと他の動物を比べながら並行読書に取り組みせることにより、第三次でのクイズ作りへの意欲を高めていきたい。

第三次では、並行読書をしながら見付けた「どうぶつのひみつ」の中から、友だちに伝えたい「ひみつ」を選んでクイズを作り、交流し合う活動を設定する。クイズ作りでは、第二次の学習で身に付けた読むことと書くことの技能を確かめながら取り組みせたい。そして、クイズ大会を通して、友だちの読みの視点の面白さや、文作りのよさ、文章を読むことの楽しさなどに気付かせていきたい。

5 単元の目標

- 教材文や本に関心を持ち、進んで読もうとする。 【関心・意欲・態度】
- ◎大事な言葉や文を見付けながら、教材文や本を読むことができる。 【読C(1)エ】
- ◎語句や文の続き方に気を付けて、文や文章を書くことができる。 【書B(1)ウ】
- 「は」「を」「へ」の助詞を、文の中で正しく使うことができる。 【伝国(1)イ(エ)】

6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	ビーバーやほかの動物に関心を持ち、進んで教材文を読んだり、本を読んで調べたりしている。
読む能力	思いを伝えるために必要となる大事な言葉や文を見付けながら、教材文や本を読んでいる。 (エ)
書く能力	語句や文の続き方に気を付けて、クイズの問題と答えを書いている。 (ウ)
言語についての 知識・理解・技能	「は」「を」「へ」の助詞を正しく使って、クイズを書いている。 (イ)エ

7 単元の指導計画 (全16時間)

次	時	主な学習活動
一	1	○題名や写真を見て、ビーバーについて知っていることを話し合う。
	2	○「どうぶつのひみつクイズ」のモデルを見て、学習課題を把握する。 ○教材文全体の、 <u>大まかな文章の組み立てを捉える。</u> 【視点2】 ○学習計画を立て、最後に「どうぶつのひみつクイズ大会」をするという見通しをもつ。 ○動物に関連する図書について、並行して読んでいくことを確認する。
	3	○ビーバーが木をかじって切り倒す様子を読み取る。 ○ビーバーの歯の仕組みや後ろ足、尾の様子を読み取る。
二	4	○<木を切りたおすビーバー>の内容からクイズを作る。 ○クイズを出し合い、感想を伝え合う。
	5	○ビーバーがダムを作る様子を読み取る。
	6	○<ダムを作るビーバー>の内容からクイズを作る。 ○クイズを出し合い、感想を伝え合う。
	7 構	○ビーバーが巣を作る様子を読み取る。
	8	○<すを作るビーバー>の内容からクイズを作る。 ○クイズを出し合い、感想を伝え合う。

三	9	○クイズを作るために、「体の特徴（特別なつくり）」「住んでいる場所」「面白い習性」など、必要な項目に着目しながら並行読書をしてきた本を読み返す。
	10	
	11	
	12	○書き出したメモを基にして、クイズの内容を考える。
	13	○問題と答えがつながるように、クイズをカードに書く。
	14	○「どうぶつのひみつクイズ大会」をする。
15	○クイズを作った感想や、友達の作ったクイズ、それに答えた感想などを伝え合う。	
16	○単元の学習を振り返り、分かったことやどんな力が身に付いたかを整理する。	

8 本時の指導

(1) 目標

ビーバーが巣を作る様子を読み取り、クイズを作るためのビーバーの「ひみつ」を見付け、書き抜くことができる。

(2) 展開

段階	学習活動と学習内容	指導上の留意点 ○支援 ◎評価
導入 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <すを作るビーバー>を読んで、ビーバーの「ひみつ」を見つけよう。 </div>	○ビーバーのひみつを見付けてクイズを作ったことを確認する。 ○「ひみつ」＝「ビーバーのすごさ」として再確認し、ひみつとなる言葉を書き抜くことを確認する。
展開 35分	3 学習課題を解決する。 (1) <すを作るビーバー>の様子を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ビーバーのしたことに着目して音読する。 ・ビーバーのしたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・本文と写真や挿絵を照らし合わせながら、巣を作る様子を全体で読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ビーバーが湖の真ん中に巣を作る理由を考え、ペアで交流する。 【視点3】 ・交流したことを発表し合い、全体で考える。 (2) ビーバーの「ひみつ」を見つける。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ひみつ」を見付ける時の視点を確かめる。 ・「ひみつ」を見付けてサイドラインを引く。 <ul style="list-style-type: none"> ・見付けた「ひみつ」を抜き出し、自分のカードに書く。 ・書いたことを友達に伝え、互いの選んだ「ひみつ」について、感想を述べ合う。 【視点3】 	○前時のビーバーのダム作りの様子についても振り返らせながら、巣の作り方に着目させる。 ○本文と写真や挿絵を照らし合わせるにより、言葉の意味や巣を作る様子、ビーバーの知恵について、確かな読みができるようにする。 ○意見交流では、根拠を明らかにして発表するよう確認する。 ○驚いたこと、初めて知ったこと、友達に伝えたいと思ったことなどを「ひみつ」を見付ける際の視点として確認する。 ○サイドラインはできるだけ短く引かせ、伝えたいことを焦点化して考えられるようにする。 ◎巣を作るビーバーの様子を確かめ、ビーバーの「ひみつ」となる、大事な言葉を見付け、書き抜いている。 (サイドライン、ワークシート)

終 末 5 分	<p>4 学習をまとめ、本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の感想をワークシートに書く。 <p>5 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○学習を通して分かったこと、友達の考えのよかったところ、次の学習に生かしたいことなどを書かせる。</p> <p>○次時ではクイズを作ることを確認し、意欲や見通しをもてるようにする。</p>
------------------	--	---

(3) 評価

B：巣を作るビーバーの様子を確かめ、ビーバーの「ひみつ」となる、大事な言葉を見付け、書き抜いている。

支援：ビーバーが巣を作る時にすることや、その理由を順に振り返り、驚いたこと、友達に伝えたいこと、初めて知ったことなどを確かめ、クイズにしたいことを選ばせる。

(4) 板書計画

ビーバーの大工事

なかがわ しろう 文

① 「すを作るビーバー」を読んで、ビーバーのひみつを見つけてよう。

① 音読

② ビーバーのしたことを見つけて

ダムを作るのは、

← うちがわ

みずうみの まん中に

③ すを作る。

ひみつ

「ビーバーのすごき」

・おどろいた

・はじめてしった

・友だちにつたえたい

同じように

水の上にかんた

「しま」のよう

てきに おそわれない

あんぜんな すを作るため

③ 「ひみつ」を見つけれ ↓ サイドライン ↓ カードに書く

④ 「ひみつ」を教え合う ↓ かんそう

◇ ふりかえり

- ・ 学しゆうしてわかったこと
- ・ 友だちの考えのよかったところ

○ およぎの上手などうぶつ

× てき (オオカミ、イタチのなかま)

←

・ 木と石とどろをつみ上げて

・ すの入口は、水の中にある。